



GSP JOURNAL

7号
2023/11/25

学んで時にこれを習ふ

大学の出張講義で学問の専門性に触れる、社会人の講師から話を聞くことで職業観を育成する、などGSPでは高校生の未来を見据えた講座をこれまでに数多く開講してきました。そこで受けた刺激が、日頃の学習への積極的な取り組みに繋がることを期待しています。部活動でも学業でも、目標に見合う努力がなければ、結果は当然ついてきません。

今月のGSPは期末試験直前であり、共通テストまで50日を切るということもあって、自主学习や模試対策、共テ対策の講座に参加する生徒も目立ちました。今の自分と真剣に向き合い、自己実現を目指して懸命に励んでいる生徒、そしてその生徒らを鍛え上げようとする講師の先生方の姿には、胸を打つものがありました。かつて孔子も「学んで時にこれを習ふ」と、反復学習の重要性を説いていましたが、これが真実であることは時を経た今でも変わりません。その努力の先に、真の朋(友)との出会いや師との出会いが待っているのです。



～今月のピックアップ講座～

『セメント硬化体験とVR』

石川県土木部管理課と真柄建設株式会社の協力で実現したこの講座で、生徒たちは建設現場で使用されているセメントをミッキーマウスの型に流し込み、セメントが固まる仕組みを自分の目で見ながら確認していました。待ち時間のVR体験では建設現場の様子を疑似体験することができました。

日本文化に触れる GSP、実社会とつながる GSP



【市長になって予算を作ろう！】

どこかの世代を重視する政策で予算を立てるとその他の世代が苦しみそうな配分になってしまったり、借金が増えてしまったりしたので難しかった。有権者で投票する世代を考えると、年配の人向けの政策をとる政党が有利であることもわかった。(1年生 T・N)



【今年は紅葉！秋の兼六園で“着物”体験】

普段着ない着物を着る体験ができて、とても楽しかったし、良い経験になりました。着付けの方も優しく、話しやすかったので、また体験したいと思いました。(1年生 I・A)



【電動ろくろ体験&瞑想の足湯】

人生初めてのろくろ体験はとても挑戦してみたかったので、嬉しかったです。温泉街を散策したりしてリフレッシュできました。(2年生 Y・M)



【映画プロデューサーに聞く

製作現場の裏側とやりがい】

今日のお話を聞いて、映画はとても奥が深いものだと感じました。映画を見られることは映画を作っている人の努力があるからこそあって、当たり前なことではないんだと思いました。映画の興行収入や裏話的なことを知ることも、楽しみ方の一つだと思いました。(1年生 S・H)